

ちよだ生物多様性推進プランの見直しについて

秋の改訂

1 概要

2013 (平成 25) 年に策定した「ちよだ生物多様性推進プラン」(以下、「推進プラン」という。)は短期目標年次である 2020 (令和 2) 年を迎えた。その短期目標の達成状況を把握するため、計画に掲げる取組みの進捗状況と併せて区内の生物の現況を調査・検討するとともに、その結果を踏まえ、「推進プラン」の見直しを行う。

2 検討体制

千代田区生物多様性推進会議にて検討中

委員 12 名 (学識経験者 3 名、区民 3 名、学校、事業者、国、都、区)

3 現状調査 (令和 4 年度)

①区内の動植物のモニタリング調査 (参考資料 1)

推進プラン策定時の調査地点 14 か所に区内の緑地 3 地点を追加したモニタリング調査 (春・夏・秋・冬) を実施し、策定時と現状を比較し、生物の生息・生育環境の変化や特徴・課題を把握し今後の見直しに組み込んでいく。

②区政モニターアンケート (参考資料 2)

実施期間: 6 月 28 日~7 月 15 日

公募の満 18 歳以上の区内在住・在勤・在学者 100 名を対象に実施した。

集計結果 (88 名の回答) を参考に今後の見直しに組み込んでいく。

③世論調査

実施期間: 9 月 26 日~10 月 17 日

無作為に抽出した満 18 歳以上の区内在住者 2,000 名を対象に実施した。

集計結果について今後の見直しに組み込んでいく。(集計中)

4 見直しスケジュール (予定)

| | |
|------------|----------------------------|
| 令和 4 年度 | 現状調査等を踏まえ生物多様性推進会議にて見直しの検討 |
| 令和 5 年 6 月 | 素案の作成、議会報告 |
| 令和 5 年 8 月 | パブリックコメント実施、首脳会議 |
| 令和 5 年中 | 推進プラン改定 |

モニタリング調査結果（春～夏）

① 調査地点及び調査日

現況調査は、平成 21 年度調査実施地点 14 地点の他、新たに街中の小規模な緑地 3 地点を追加し実施した。各項目の調査日について表 1 に示す。



表 1 調査実施日程

| 調査項目 | 調査方法 | 調査時期 | 調査日 |
|-------------------|-----------------------------------|------|------------------------|
| 哺乳・ 両生・爬虫 類 | 任意観察 | 春季 | 2022年4月15日 |
| | 任意観察 自動撮影カメラ設 置 夜間コウモリ調査 | (秋季) | (2022年10月3日～5日) |
| | | | |
| 植物相 | 任意観察 | 春季 | 2022年5月10日～11日、20日 |
| | | 夏季 | 2022年7月27日～29日 |
| | 任意観察 植生調査 | (秋季) | (2022年10月3日～5日、11日) |
| 鳥類 | 任意観察 | 春季 | 2022年5月17日～18日、30日 |
| | | 初夏 | 2022年6月13日～14日、20日～22日 |
| | | (秋季) | (2022年10月3日～5日) |
| 昆虫類 | 任意調査 | 春季 | 2022年5月10日～12日、20日 |
| | 任意調査 ベイトトラップ | 夏季 | 2022年7月26日～29日 |
| | 任意調査 | (秋季) | (2022年9月28日～29日) |
| 魚類 | 任意捕獲 | 夏季 | 2022年8月17日～19日 |
| | | (秋季) | (2022年10月3日～5日) |
| 底生動物 | 任意採集 | 夏季 | 2022年8月17日～19日 |
| | | (秋季) | (2022年10月3日～5日) |

※秋季調査の結果は整理中

区政モニターについて

【アンケート実施状況】

| | |
|------|------------------|
| 調査内容 | 「生物多様性」について |
| 調査期間 | 令和4年6月28日から7月15日 |
| 調査対象 | 区政モニター（100名） |
| 回答数 | 88名（回収率88%） |

区政モニターの内訳（令和4年7月現在）

※（）内は今回アンケートの回答者数

<年齢別の内訳>

| | | |
|------|------|-------|
| 10歳代 | 0名 | (0名) |
| 20歳代 | 10名 | (8名) |
| 30歳代 | 22名 | (20名) |
| 40歳代 | 24名 | (23名) |
| 50歳代 | 25名 | (21名) |
| 60歳代 | 14名 | (11名) |
| 70歳代 | 4名 | (4名) |
| 80歳代 | 1名 | (1名) |
| 合計 | 100名 | (88名) |

<在住・在勤・在学の内訳>

| | | |
|----|------|-------|
| 在住 | 83名 | (73名) |
| 在勤 | 16名 | (14名) |
| 在学 | 1名 | (1名) |
| 合計 | 100名 | (88名) |

【アンケート内容】（回答一部抜粋）

Q1 あなたは、生物多様性という言葉をご存じですか。

| 項目 | 回答数 | 割合 |
|-------------------|-----|-----|
| 言葉の意味を知っている | 62 | 70% |
| 意味は知らないが、聞いたことがある | 12 | 14% |
| 聞いたことがない | 14 | 16% |

Q2 あなたは、生物多様性に関心がありますか。

| 項目 | 回答数 | 割合 |
|-----------------|-----|-----|
| 大切なことで、関心がある | 71 | 81% |
| 大切とは思いますが、関心はない | 11 | 12% |
| 大切とは思わないが、関心はある | 0 | 0% |
| 大切とは思わないし、関心もない | 1 | 1% |
| 考えたことがない | 5 | 6% |

Q3 あなたは、区内の身近な自然についてどのように感じますか。

Q4 あなたは、区の生物多様性地域戦略である「ちよだ生物多様性推進プラン」のことをご存じですか。

Q5 あなたは「千代田区生きものさがし」をご存じですか。また、参加したことがありますか。

Q 6 あなたは、区内の生きものの生育・生息情報や各団体の取組活動等の情報が、十分に発信・共有されていると思いますか。

Q 7 あなたは、区内の生物多様性に関する情報（生きもの、環境イベント、取組み・活動など）は主に何で知りますか。

| 項目 | 回答数 | 割合 |
|-----------------|-----|-----|
| 区の広報紙 | 42 | 48% |
| 区のホームページ | 11 | 12% |
| 学校からの配布物 | 4 | 5% |
| 企業や民間団体等のイベント | 0 | 0% |
| 企業や民間団体等のホームページ | 0 | 0% |
| 公共施設での展示・配布物 | 6 | 7% |
| SNS | 16 | 18% |
| テレビ・ラジオ・新聞・図書 | 2 | 2% |
| その他 | 7 | 8% |

Q 8 あなたは、区内の生物多様性に関する情報（生きもの、環境イベント、取組み・活動など）は、どのような媒体による周知が理想的と考えますか。（複数回答可）

Q 9 あなたは、区民・企業・大学等と連携した生物多様性の取組みやイベントがあれば、参加してみたいと思いますか。（例）生きものさがし、自然観察会など

Q 10 あなたは、区が区内の緑地を保全・維持・改善し続けていくことは重要だと思いますか。

Q 11 あなたは、区内の緑地の維持管理活動や生物多様性の保全活動に参加したことがありますか。

Q 12 あなたは普段、どのような身近な場所で生きものに関わる機会がありますか。（複数回答可）

Q 13 あなたは、区内で以前より生物多様性への配慮が充実した・改善したと感じる場所がありますか。（複数回答可）

Q 14 あなたは、区内に在来樹種を使った緑地が増えることが生物多様性の向上にとって重要だと思いますか。

Q 15 あなたは、外来生物対策として、次のうちどの手段を最も取るべきだと思いますか。

Q 16 生物多様性保全のために、普段の生活の中で取り組んでいる・心がけている活動をお答えください。（複数回答可）

Q 17 あなたは、自然環境や生きもののことを考えて行動していく際に、どのような情報が必要だと思いますか。（複数回答可）

Q 18 あなたは、今後、生物多様性の保全に向けて、千代田区がどのような取組みに力を入れていく必要があると思いますか。（複数回答可）

※全設問の集計結果はHPにて公開しています。